

5

千葉県山武郡

横芝光町立横芝中学校

- クラス数 / 14 クラス
 - 生徒数 / 410 名
 - 建築主 / 横芝光町
 - 所在地 / 千葉県山武郡横芝光町坂田池 3 番地 1
 - 敷地面積 / 38,709㎡
 - 建築面積 / 2,612㎡
 - 延床面積 / 10,416㎡ (体育館 3,636㎡)
 - 構造・規模 / RC 造一部鉄骨造
地上 3 階建
 - 施工期間 / 2007 年 10 月～2009 年 2 月
- ※クラス・生徒の数は平成 22 年 3 月末現在

大小さまざまな空間における多様な学習活動の展開。

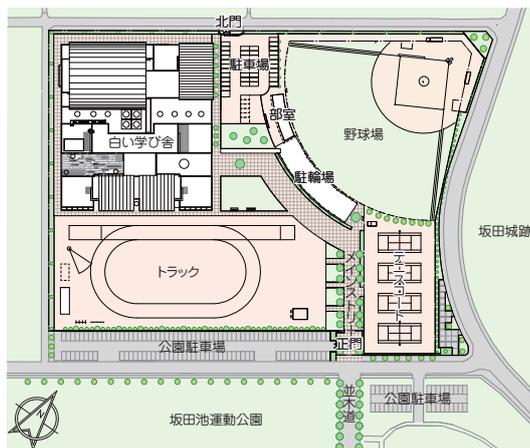
3つの大空間を多目的に利用。木材を使用した落ち着いた環境。少人数学習やカウンセリングに使われる小空間の配置。使いやすい環境が学習効果をあげる。



のどかな風景の中に緑と白のコントラストが映える校舎

計画に見られる指針改訂のポイント

1. 多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供
2. 家庭・地域と連携した施設の充実

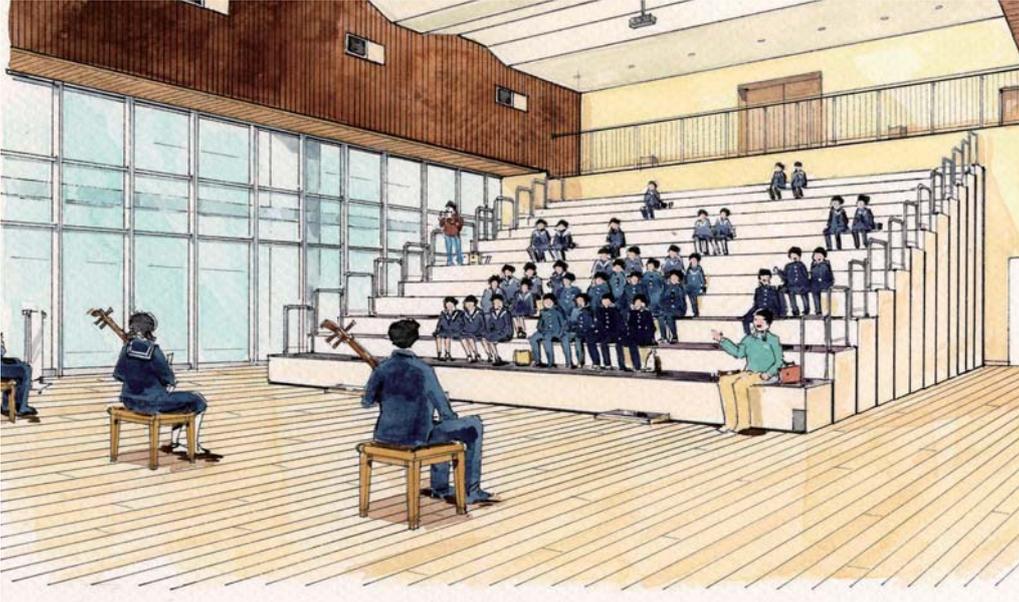


■配置図



■1階平面図

多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供 ↳ 大小さまざまな空間が多様な活動を生み出す



1 移動観覧席のある視聴覚室



3 各学年に設置されたミーティングルーム



2 体育館としての機能を高めるため、内装・設備の整った講堂



4 少人数学習を行う小空間

校長の視点から

移動観覧席で ひとつの空間を柔軟に活用

視聴覚室には、電動式移動観覧席を備えています。これは、視聴覚室を学年集会の他、学習発表会、PTA 部会、研究会、講演会、映写会、さらには ICT を活用した学習空間としてフレキシブルに活用するためのものです。この移動観覧席により、空間の用途が大きく広がりました。(図 1)

幅広い学習活動を支える 多目的スペース

隣接する運動公園との連携を考え、地域の活動の場としても使える大きな空間を配置しています。視聴覚室・講堂・武道場の大空間は、それぞれが独自の用途をもちながら、3つの学年が学年集会を同時に開けるスペースとしても機能します。このような多目的空間が、多様な学習活動の展開に大いに役立っています。(写真 2)

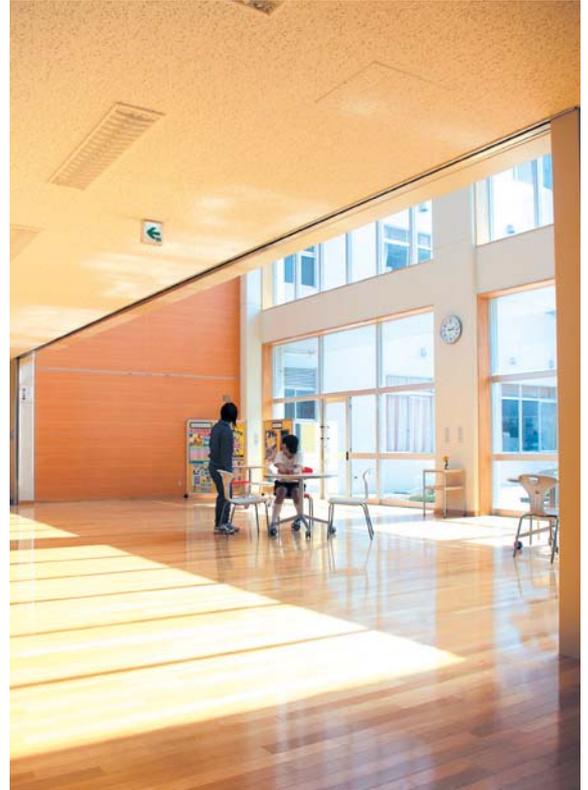
学習の多様性を確保する 多様な小空間

各学年にはミーティングルームが設置され面接や個別学習、個人指導の部屋としての機能を果たしています。また、少人数学習室も、各学年ごとに2室設けています。さらに、教師の工夫による魅力的な展示ができるよう、展示・掲示スペースを充実させるなど、多様性に富んだ空間で学習効果を高めています。(写真 3、4)

多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供
 ↳ 生徒の交流を促すための空間をきめ細かく配置



5 ラウンジは地域とのふれあいの場



6 交流の場となる昇降口前の多目的ホール



7 放課後、オープンスペースで合唱の練習



8 トイレ前に設置されたベンチ

教職員の視点から

学校生活を魅力的にするスポット

大きなベンチを2つデザインした昇降口脇のラウンジは、登下校時の待ち合わせや地域の人たちとのふれあいの場になっています。ベンチやお洒落な手洗い場のあるトイレは、生徒たちのおしゃべりの場にもなっています。生徒たちが自然に集い、気持ちよく過ごせる場所が校舎に点在していることで、学校生活の魅力が高まっているようです。(写真5～8)

大空の下でのひのびと音楽活動

文化活動や学習成果など成果を発表する場は大切です。音楽室は音楽の学習・練習の場ですが、本校では講堂や視聴覚室にもピアノを設置し、そこでも音楽の練習が行えます。教科ごとの学習内容や形態の違いはあっても、その成果を発表する舞台は特別な環境を設える必要があると考え、音楽室の外には野外ステージも設置し、教科を超えた発表の場としています。(写真9)

親子のコミュニケーションを円滑にする取り組み

生徒のカウンセリングと保護者の相談を有機的に結びつけ、よりきめ細かな指導ができるよう、カウンセリング室と相談室を隣り合わせで配置しています。学校と生徒や保護者、そして親子のコミュニケーションが今まで以上に円滑に図れます。生徒の精神的な安定も得られ、落ち着きや安心して登校できる環境が整備されています。(写真11、12)

多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供 └特別教室の個性的な整備



9 音楽室から続く屋外ステージ



10 和楽器の収納棚

家庭・地域と連携した施設の充実 └カウンセリングに適した雰囲気のある空間



11 生徒用カウンセリング室



12 保護者用相談室

〈設計者の視点から〉

- ◎開放感にあふれる広い空間と、明るい色彩を取入れた小空間を併設することで、目的に合わせた多様な利用が可能となる空間配置としています。(図1、写真2、3、11、12)
- ◎校舎内を明るく開放感ある空間に仕上げています。また、多目的ホールのテーブルやトイレ前のベンチなど、交流の場を設けることで地域とのつながりを重視した施設としています。(写真5～8)

(設計/豊建築事務所)

● 検討委員会委員の視点から

多様な学習活動が可能となる環境の整備の観点から

学年集会や学習発表会などを行う大空間として電動式移動観覧席を備えた視聴覚教室を設け、各学年に個別学習、面接等に利用できるミーティングルームや少人数学習室等の小空間を整備するなど多様な学習内容に対応できる計画となっている。

昇降口前にホールを設けたり、トイレ前にベンチを設置したりするなど、生徒が自然に集まり交流できる空間が充実している。